

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

社名	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	11,200名 (単独)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●システムインテグレーション事業 ●ネットワークシステムサービス事業 ●その他これらに関する一切の事業 		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則、テレワークに関する取扱い細則
テレワーク推進担当部門	全組織
テレワーク対象者	①育成期間終了後の社員 ②自宅で業務遂行が可能な環境にある社員
実施者数	非公開
実施日数	非公開

テレワークの導入・拡大の経緯

NTTデータのテレワーク(在宅勤務)は、グループビジョンの実現に向けた「新・行動改革ワーキンググループ」活動(2005年9~12月)の中で、社員有志の自発的な提案に対し経営幹部および関連部署が連携し、ボトムアップとトップダウンにより2006年トライアル導入、2008年本格制度化。2011年の東日本大震災後の節電対応やトップメッセージ「働き方変革を進めていくための良いきっかけ、これまでの考え方にとらわれない柔軟な働き方をすべき」により、テレワーク利用者が大幅に拡大。グローバル化の進展により、現在は全世界のグループ社員数は8万人を超える状況となった。2016年4月の制度改正により、フレックスタイム制における分断勤務やコアタイム解除が可能となり、時差のある海外とのWeb会議等、より柔軟な働き方の実現に寄与している。

テレワークの概要・特徴

- 在宅勤務
 - ・全社員対象(条件を満たせば、職種、年齢、性別等は問わない)
 - ・原則8日/月を限度とする。所属長の承認を受けた場合は8日を超えて実施可
 - ・残業、深夜勤務は原則禁止
 - ・会社貸与のシンクライアントPCのみ利用可
 - ・紙の情報、個人情報への扱いは不可
 - ・労働時間のモニタリングの徹底

- モバイルワーク
 - ・会社メール、スケジュール確認、電子決裁や会議体対応、安否登録等をいつでもどこでも実施可能

- テレワークを実現するしくみ
 - 高セキュアなテレワーク環境を商品化し、お客様の働き方変革を支援
 - ・クラウドサービス BizXaaS® Office <http://www.bizxaas.com/application/office/>
 - ・ワンタイムパスワード認証サービス BizXaaS®-Authentication <http://www.bizemotion.net/joomla/>
 - ・モバイル活用基盤 MERMaides®

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 生産性向上・労働時間の適正化
 - ・裁量労働制、フレックスタイム制等との組合せにより、時間と場所に捉われない柔軟な働き方を推進し、グローバル対応や短時間での成果を実現。
 - ・集中して行う業務の生産性向上
 - ・外出/移動時間の有効活用

- BCPとしての活用
 - ・新型インフルエンザや震災、台風等の際の事業継続
 - ・育児、介護や骨折、妊娠中社員、遠距離通勤者等の業務継続
 - ・節電対応

- イノベーションの実現
 - ・生産性向上により創出された時間を自己実現、自己研鑽に活用することで、新しい価値、イノベーション創出へ。

ある社員の忙しい1日を支える制度とICTツール

